

企業の環境パフォーマンスと財務パフォーマンス —先行研究のサーベイ—

浅野 礼美子

目 次

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. はじめに | 4. 企業の環境責任と環境負債リスク |
| 2. 企業戦略としての環境マネジメント | 5. 終わりに |
| 3. 環境パフォーマンスと財務パフォーマンス | |

本稿は、先行研究のサーベイから企業の環境問題への積極的な取組みが企業経営にどのような影響を及ぼすかについて考察し、実務家への示唆を探った。2010年以降の先行研究では、企業の環境責任（CER）に注目している。この観点に立った研究の示唆によると、企業の積極的な環境マネジメントについては、adverse events（例えば、環境スキャンダル、訴訟など）の発生を抑え、環境負債リスクの回避や軽減に役立つ可能性がある。

1. はじめに

本稿では、財務パフォーマンス（Financial Performance: FP）向上のための環境マネジメント及び環境パフォーマンス（Environmental Performance: EP）とFPとの関係について、先行研究のサーベイから概観し、実務家への示唆を探っていく。地球温暖化を背景に、企業のEPに関連する研究が盛んに行われるようになってきた。この中でも、企業のEPとFPとの間の関係を明らかにするための研究には蓄積がある。

このうち、EPがFPに与える影響についての分析に注目すると、その影響についてはネガティブないしはポジティブといった双方の見解が存在し、それらの主張は相反する。まず、EP向上がFPにネガティブな影響を与えるという見方は、研究者の間で伝統的な見解と捉えられている。その伝統的な見解では、企業の積極的な環境への取組みはFPを低下させるという懐疑的な視点に立つ。その理由については、企業が事業活動での環境への取組みによって追加的なコストが発生し、そのコストがFPにマイナスの影響を及ぼすため



浅野 礼美子（あさの れみこ）

岐阜聖徳学園大学経済情報学部専任講師。2008年名古屋市立大学大学院経済学研究科博士前期課程修了、11年名古屋市立大学大学院経済学研究科博士後期課程修了。博士（経済学）。愛知学泉大学現代マネジメント学部講師を経て、19年4月より現職。最近の論文に「ESG（環境・社会・ガバナンス）の情報と評価基準」（ゆうちょ財団、16年）などがある。